

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切に作る島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)-イ 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 工芸品生産額	65.0億円	41.3億円(H22)	40.2億円(H29)	進展遅れ
2. 工芸産業従事者数	2,000人	1,707人(H22)	1,791人(H29)	進展遅れ
3. 従事者一人当たりの工芸品生産額	3,300千円	2,422千円(H22)	2,244千円(H29)	進展遅れ

背景・要因の分析

(1)工芸品生産額
【進展遅れ】
 県内工芸産業においては、工程のほとんどが手作業であること、個人工房が多くを占めるため生産量には限りがあることを背景に市場ニーズへの対応不足等があり進展遅れとなっている。

政策ツール

主な予算事業

事業・取組(事業年度)	事業の種類	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
工芸産業振興基盤の整備(H24~R3)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	674百万円 (476百万円)	人材育成や貸し工房、異業種交流の場、展示・販売等の機能を備えた拠点施設の整備	【H30年度目標】 埋蔵文化財発掘調査の完了	【H30年度実績】 埋蔵文化財発掘調査の完了	達成
後継者等人材の育成(H24~R3)(商工労働部)	県事業 県単事業等	130百万円 (0百万円)	各産地が行う後継者育成事業への補助。また、紅型等4分野の若手工芸技術者に対し、基礎的及び専門的な技術研修を実施	【H30年度目標】 後継者育成補助組合数: 6件 高度工芸技術研修生数(工芸振興センター実施): 17人	【H30年度実績】 後継者育成補助組合数: 6件 高度工芸技術研修生数(工芸振興センター実施): 12人	達成
原材料の安定確保(H24~R3)(商工労働部)	県事業 県単事業等	29百万円 (0百万円)	喜如嘉の芭蕉布に使用される芭蕉糸の採織技術者の育成研修等と、琉球藍に関する基礎データ収集および研究等を実施	【H30年度目標】 糸芭蕉の生産技術者養成: 2人	【H30年度実績】 糸芭蕉の生産技術者養成: 2人	達成
工芸・ファッション産業宣伝普及事業(H26~H30)(商工労働部)	県事業 ソフト交付金	277百万円 (221百万円)	首都圏にて、本県の工芸品お常設展示・販売場を設置し、製作実演・制作体験等の企画展を実施	【H30年度目標】 来場者数: 60,000人 メディア取材(TV、新聞、雑誌等): 10件	【H30年度実績】 来場者数: 59,984人 メディア取材: 14件	達成
織物検査事業(H24~R3)(商工労働部)	県事業 県単事業等	95百万円 (0百万円)	県内9箇所に「沖縄県伝統工芸製品検査員」を配置して染織物工芸品の検査を実施	【H30年度目標】 検査員配置数: 10人	【H30年度実績】 検査員配置数: 10人	達成

(2)工芸産業従事者数
【進展遅れ】
 技術、技法の習得に長期間を要することや十分な収入が得られないことにより、継続的に従事する人材の確保が困難なことが要因にあり、進展遅れとなっている。

(3)従事者一人当たりの工芸品生産額
【進展遅れ】
 県内工芸産業においては、工程のほとんどが手作業であること、個人工房が多くを占めるため生産量には限りがあることを背景に、市場ニーズへの対応不足等があり進展遅れとなっている。

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	I 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
基本施策番号・名称	1-(5) 文化産業の戦略的な創出・育成
施策展開番号・名称	1-(5)- 伝統工芸品等を活用した感性型ものづくり産業の振興

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業名 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
沖縄工芸ふれあい広場事業 (H24～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	21百万円 (0百万円)	伝統工芸品の認知度向上のため、東京銀座にて沖縄の工芸品を一堂に集めた展示会を開催	【H30年度目標】 沖縄工芸ふれあい広場の開催:1回	【H30年度実績】 沖縄工芸ふれあい広場の開催:1回	達成
沖縄工芸ブランド強化事業 (H28～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	39百万円 (0百万円)	三線及び琉球ガラスについて、展示販売会等の普及活動を実施するとともに、国指定伝統的工芸品を目指した調査を実施	【H30年度目標】 国指定工芸品:2件	【H30年度実績】 国指定工芸品:1件	進展遅れ
工芸製品新ニーズモデル創出事業(H24～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	57百万円 (0百万円)	現代の消費者ニーズに対応した商品開発を行う工芸事業者に対し、マーケティングや試作品開発等の支援を実施	【H30年度目標】 製品開発数:30アイテム	【H30年度実績】 製品開発数:32アイテム	達成

税制等

軽減措置の名称(対象年度)	適用数量・金額 (24～29年度)	目標値(R3年度)	実績値(29年度)	達成状況

努力義務・配慮義務・特例措置

沖振法条文番号・見出し	実施主体	成果(例)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(9) ものづくり産業の振興と地域ブランドの形成
施策展開番号・名称	3-(9)-ア ものづくり産業の戦略的展開

成果指標					背景・要因の分析	
成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	
1.	製造品出荷額(石油・石炭除く)	5,600億円	3,992億円(H21)	4,426.7億円(H28)	進展遅れ	
2.	製造業従事者数	28,000人	24,812人(H21)	24,760人(H29)	進展遅れ	
3.	工芸品生産額	65.0億円	41.3億円(H22)	40.2億円(H29)	進展遅れ	
4.	臨空・臨港型産業における新規立地企業数	260社	47社(H23)	178社(H29)	進 展	
政策ツール						
主な予算事業						
事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
原材料の安定確保 (H24～R3) (商工労働部)	県事業 県単事業等	29百万円 (0百万円)	喜如嘉の芭蕉布に使用される芭蕉糸の採織技術者の育成研修等を実施	【H30年度目標】 糸芭蕉の生産技術者養成:2人	【H30年度実績】 糸芭蕉の生産技術者養成:2人	達 成

(1)製造品出荷額(石油・石炭除く)
【進展遅れ】(次回以降審議)

(2)製造業従事者数
【進展遅れ】(次回以降審議)

(3)工芸品生産額
【進展遅れ】

県内工芸産業においては、工程のほとんどが手作業であること、個人工房が多くを占めるため生産量には限りがあることを背景に、市場ニーズへの対応不足等があり進展遅れとなっている。

(3)臨空・臨港型産業における新規立地企業数
【進展】(次回以降審議)

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-ウ 特産品開発やプロモーションなどマーケティング支援等の強化

成果指標					背景・要因の分析
成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況	(1)離島の工芸品生産額【進展】 地理的制約により、市場ニーズの変化への対応不足や人材の確保難及び原材料確保が依然として課題である一方、新石垣空港開業(H25.3)に伴い入域観光客数が増加したことにより、石垣市を中心に工芸生産額は増加している。
1. 離島の工芸品生産額	11億円	7.2億円(H22)	9.1億円(H29)	進展	
2. 離島フェア売上総額	6,300万円	4,997万円(H23)	9,179万円(H30)	達成	
3. 離島の製造品出荷額	546億円	393億円(H21)	393.7億円(H28)	進展遅れ	

政策ツール

主な予算事業							(2)離島フェア売上総額【他部会審議】 (3)離島の製造品出荷額【進展遅れ】(次回以降審議)
事業・取組(事業年度)	事業の種別	事業費(うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況	
県産品のデザイン活用の促進(H24~R3)(商工労働部)	県単事業	2百万円(0百万円)	県産品の製品開発等におけるデザイン活用を促進し、県産品の差別化、高付加価値化を目指し、県内デザイナーのデザイン力の向上と県内企業に対するデザイン活用の普及を図る	【H30年度目標】 研修会及び技術講習会の開催:1回	【H30年度実績】 研修会及び技術講習会の開催:1回	達成	
原材料の安定確保(H24~R3)(商工労働部)	県単事業	29百万円(0百万円)	染織工芸品に使用される原材料の供給体制を強化するために、供給事業者の育成・確保及び技術力向上により、良質な原材料を安定的に供給する。	【H30年度目標】 ・糸芭蕉の生産技術者養成:2名 ・検討会(委員会)の開催:2回 ・情報交換会およびシンポジウムの開催:2回	【H30年度実績】 ・糸芭蕉の生産技術者養成:2名 ・検討会(委員会)の開催:2回 ・情報交換会およびシンポジウムの開催:2回	達成	
工芸製品新ニーズモデル創出事業(H24~R3)(商工労働部)	県単事業	5千3百万円(0百万円)	新たな製品づくりを目指す工芸事業者を公募・採択し、流通やマーケティング、試作品開発、販路開拓等の支援を行う	【H30年度目標】 製品開発数:30件	【H30年度実績】 製品開発数:32件	達成	
沖縄工芸ふれあい広場事業(H24~R3)(商工労働部)	県単	21百万円(0百万円)	離島も含めた沖縄の工芸品を一堂に集め展示紹介するほか、即売や実演・体験、産地講演会を行う	【H30年度目標】 催事開催回数:1回	【H30年度実績】 催事開催回数:1回	達成	

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	Ⅲ 希望と活力にあふれる豊かな島
基本施策番号・名称	3-(12) 離島の特色を生かした産業振興と新たな展開
施策展開番号・名称	3-(12)-エ 離島を支える多様な人材の育成・確保

成果指標	背景・要因の分析
------	----------

成果指標		目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1.	観光人材育成研修受講者数	190名	—	159名(H30)	達成見込
2.	離島における新規就農者数(累計)	1,069人	78人(H22)	966人(H30)	達成見込
3.	離島における工芸産業従事者数(累計)	440人	415人(H22年度)	398人(H29年度)	進展遅れ

(1)観光人材育成研修受講者数
(他部会審議)

(2)離島における新規就農者数(累計)
(他部会審議)

政策ツール	背景・要因の分析
-------	----------

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種別	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
工芸産業における後継者等人材の育成 (H24~R3) (商工労働部)	県単事業	8百万円 (0百万円)	従事者の確保及び育成を図ることを目的に各産地が行う後継者育成事業に対する補助を行う。また、宮古上布及び八重山上布・ミンサーの生産技術習得のため、染色技術、製織技術研修を行う	【H30年度目標】 後継者育成補助組合数(離島地区): 2組合	【H30年度実績】 後継者育成補助組合数(離島地区): 2組合	達成

(3)離島における工芸産業従事者数(累計)
【進展遅れ】
技術、技法の習得に長期間を要することや十分な収入が得られないことにより、継続的に従事する人材の確保が困難なことが要因にあり、進展遅れとなっている。

沖縄21世紀ビジョン基本計画等 検証シート

将来像	V 多様な能力を発揮し、未来を拓く島
基本施策番号・名称	5-(5) 産業振興を担う人材の育成
施策展開番号・名称	5-(5)-イ 地域産業を担う人材の育成

成果指標

成果指標	目標値(R3年度)	基準値	実績値	達成状況
1. 製造業従事者数	28,000人	24,812人(H21)	24,760人(H29)	進展遅れ
2. 工芸産業従事者数	2,000人	1,707人(H22年度)	1,791人(H29年度)	進展遅れ
3. 認定農業者数	3,000人	244人(H22)	2,331人(H30)	達成見込
4. 建設産業人材育成数	208人	0人(H24)	194人(H30)	達成見込

背景・要因の分析

(1)製造業従事者数
【進展遅れ】(次回以降審議)

(2)工芸産業従事者数
【進展遅れ】
技術、技法の習得に長期間を要することや十分な収入が得られないことにより、継続的に従事する人材の確保が困難なことが要因にあり、進展遅れとなっている。

政策ツール

主な予算事業

事業・取組 (事業年度)	事業の種類	事業費 (うち国費)	事業の概要	目標値	実績値	達成状況
工芸産業における後継者等人材の育成 (H24~R3) (商工労働部)	県単事業	130百万円 (0百万円)	後継者育成事業に対する補助及び染織物・木漆工分野における若手工芸技術者に対し、基礎的及び専門的な技術研修を行い、高度な技術を持った人材の育成を実施する	【H30年度目標】 ・後継者育成補助組合数:6組合 ・高度工芸技術研修生数(工芸振興センター実施):17人	【H30年度実績】 ・後継者育成補助組合数:6組合 ・高度工芸技術研修生数(工芸振興センター実施):12人	達成
県工芸士の認定 (H24~R3) (商工労働部)	県単事業	3百万円 (0百万円)	工芸産業の従事者の地位向上と後継者の育成・確保に寄与することを目的に、優れた技術・技法を保持する工芸産業従事者を「沖縄県工芸士」として認定する	【H30年度目標】 県工芸士認定者数:5名	【H30年度実績】 県工芸士認定者数:10名	達成

(3)認定農業者数
(他部会審議)

(4)建設産業人材育成数
(他部会審議)